

# 日本音楽集団

## PRO MUSICA NIPPONIA



関西特別公演

～現代邦楽をあなたに～



2008年2月15日[金]  
午後7時開演(午後6時30分開場)  
豊中市立アクア文化ホール

：主催：特定非営利活動法人日本音楽集団　：後援：豊中市・豊中市教育委員会  
：助成：芸術文化振興基金

■日本音楽集団：http://promusica.or.jp/　E-mail office@promusica.or.jp



## 全国で生まれている多くの邦楽合奏団たち

日本音楽集団代表 田村拓男



久しぶりの関西公演実現に私たちは少なからず興奮しています。チラシにも書きましたが、日本音楽集団創立（1964年）後、初めての地方公演を行ったのが1969年12月の関西公演で、京都学生三曲連盟主催による「現代の邦楽を拓く」（13日、同志社大学学生会館ホール）と関西学生邦楽連盟主催による「甦る日本音楽」（14日、大阪樟蔭女子大学会館）でした。長沢勝俊作曲「箏四重奏曲」「独奏尺八のための“詩曲”」（尺八：宮田耕八朗）「子供のための組曲」、三木稔作曲「古代舞曲によるパラフレーズ」「天如」（二十絃箏：野坂恵子）と並ぶプログラムはまさに“現代の邦楽を拓く”のタイトルに相応しいものでした。関西の学生のみなさんが、逸早く日本音楽集団の存在に目を向け、京都と大阪でコンサートを開いてくださったことが契機となり、その後地方公演（文化庁助成）が頻繁に行われるようになりました。関西定期演奏会は実に13回も続いたのです。

先日（1/26、津田ホール）、第190回目の定期演奏会は「邦楽器アンサンブルの展望」と題する三部構成の特別企画でした。第二部の座談会のための資料として、全国の現代邦楽合奏団のアンケート調査をしました。実際に回答があったのは、豊中市の優絃社（代表：中村洋一）をはじめとする15団体でしたが、この他にもすでに30～40を超える合奏団があるのではないかと思います。

今、小・中学校やさまざまな場所において邦楽器のためのワークショップが開かれており、近い将来、全国いたるところに邦楽合奏団が誕生するのではないかと夢んでいます。

今宵は、創立44年目を迎える現在の私たちの演奏を、そして邦楽器たちの成長振りを聴いて頂き、楽しんで頂けたら幸いです。

## プログラム

### 一、邦楽器のためのコンポジション 《十三絃版関西初演》（2005）／秋岸寛久作曲

〔笛〕 越智成人

〔尺八〕 I 三橋貴風・阪口夕山 II 米澤浩

〔三味線〕 簗田司郎・山崎千鶴子

〔琵琶〕 首藤久美子・久保田晶子

〔箏〕 I 熊沢栄利子・田村法子 II 山田明美 III 久東寿子

〔十七絃〕 宮越圭子・久本 桂子

〔打楽器〕 仙堂新太郎・望月太喜之丞

〔指揮〕 田村拓男

洋楽器の多くは、オーケストラの発達に伴い、広い会場で多くの聴衆の耳に届くように改良されてきました。しかし日本の楽器は、歌舞伎の伴奏に使われる長唄の三味線などの一部の例を除いて、そのようには発達してきませんでした。私たち日本音楽集団は日本の伝統楽器を使って、今までにない規模の合奏や、同じ舞台に乗ることなどあり得なかった楽器のアンサンブルを試み、新しい音楽を創造してきました。10人の奏者によって演奏されるこの「邦楽器のためのコンポジション」は、そのような邦楽器による洋楽的感覚の合奏のおもしろさ、楽しさを、日本音楽集団を初めてお聴きになる方にも気軽に楽しんで頂けるよう、軽快で迫力のあるサウンドを体験して頂けるよう、10分たらずの中に詰め込みました。くつろいでお聴き下さい。

（秋岸寛久）

## 二、尺八三重奏曲 (2007) / 川崎絵都夫作曲

〔尺八〕 I 三橋貴風 II 阪口夕山 III 米澤浩

日本音楽集団の若手尺八奏者から「スタンディングで演奏出来てかつこいい尺八三重奏曲があるといいですね」との要望に応じて書かれた曲です。三人の奏者の対話やリズムカルな部分など、三者の競演が聴きどころ。

日本音楽集団第186回定期演奏会 (2007年1月26日、津田ホール) にて初演。

## 三、大津絵幻想 (1981) / 長沢勝俊作曲

〔笛〕 西川浩平

〔尺八〕 I 米澤浩 II 三橋貴風 III 阪口夕山

〔細棹三味線〕 簗田司郎 〔太棹三味線〕 山崎千鶴子

〔琵琶〕 首藤久美子・久保田晶子

〔胡弓〕 帯名久仁子(助演)

〔箏〕 I 熊沢栄利子・久東寿子 II 山田明美・田村法子

〔十七絃〕 宮越圭子・久本桂子

〔打楽器〕 尾崎太一・望月太喜之丞

〔指揮〕 田村拓男

「大津絵」とは、「近江国」(今の滋賀県)大津の追分あたりで売られていたおみやげ用の民衆絵画で、別名「追分絵」ともよばれていました。江戸時代の民衆の哀歎や世相風刺が泥絵具でユーモラスなタッチでおおらかに描かれており、全国津々浦々まで広がり親しまれていました。大津絵を愛し、これを高く評価しつづけた民芸運動家・宗教哲学者柳宗悦(やなぎむねよし)氏は、この美しさについて「それはどこまでも民衆から出る美しさであり、民衆だからこそ生み得るものだ」と述べており、その無垢な世界から来る大津絵の美を鋭く指摘しています。この作品は、大津絵の中から「鬼の念仏」「藤娘」「瓢箪鯉」「長刀弁慶」「雷と太鼓」の5つを選び、日本楽器の音に託して表現しようと試みています。

・・・ 休憩 ・・・

## 四、巨火(ほて) (1976) / 三木 稔作曲

〔笛〕 西川浩平・越智成人

〔尺八〕 I 米澤浩 II 三橋貴風 III 阪口夕山

〔細棹三味線〕 簗田司郎 〔太棹三味線〕 山崎千鶴子

〔琵琶〕 首藤久美子・久保田晶子

〔胡弓〕 帯名久仁子(助演)

〔箏〕 熊沢栄利子・久東寿子

〔二十絃〕 山田明美・田村法子

〔十七絃〕 宮越圭子・久本桂子

〔打楽器〕 尾崎太一・仙堂新太郎・望月太喜之丞

〔指揮・兼打楽器〕 田村拓男

「巨火」、この名は巨大な焰といった意味です。作曲者が企画した《かぐら1976》のとりこの曲として日本音楽集団の最も大きな編成で書かれました。

この作品はおおよそ三つの部分に分けられます。第一の部分は、火の塊のような響きのあと能管に導かれての「祀り」が儀式的に始まり、各楽器が独奏風に次々と現れ厳粛な雰囲気を高めていきます。自然と体を動かしたくなるようなスケルツァンドな中間部を経て、第三部では、二十数名の奏でる日本の楽器が大挙して秩父屋台囃子へ参加、祭りが繰り広げられます。そして聴く者を“ただ聴くだけ”にさせておかない興奮の渦へと巻き込んでいきます。

高級手造り琴・三絃・尺八製造販売

大正五年創業



田波楽器株式会社

〒550 大阪市西区九条南2丁目16-36  
-0025 TEL (06) 6586-0633 (代表)

FAX (06) 6583-7566

近鉄百貨店 阿倍野店和楽器売場

磨き抜かれた竹のひびき

小林一城 銘尺八

〒564-0073 大阪府吹田市山手町2-16-38  
TEL.06-6389-2033 FAX.06-6389-5844

日本音楽集団 夏期合奏講習会2008 開催!

長沢勝俊の名曲「春の一日」、そして第190回定演で初演の2曲を日本音楽集団  
指揮者田村拓男と所属の演奏家と共に合奏体験してみませんか?

日程:2008年8月8日(金)~10日(日)

会場:大日本家庭音楽会 神田スタジオ

【講習会曲目】

- ・「春の一日」(長沢勝俊)
- ・「邦楽器のためのインプロヴィゼーション」(秋岸寛久)
- ・「源氏三綴」(福嶋頼秀)

● 賛助会員へのお誘い ●

1999年10月、特定非営利活動法人日本音楽集団が発足したのを契機に、賛助会員を募集しています。多くの方々からの支援を仰ぎ、  
息の長い活動を目指したく、ご協力お願い申し上げます。募集の詳細はチラシをご参照下さい。

【賛助会員】五十音順

個人	青柳 堯	大関 富枝	後藤 陽子	宮川 慶子
	安達 眞五	太田 颯衣	四反田 素幸	渡辺 邦子
法人 (株)全音楽譜出版社	新井 克輔	大塚 悦子	棚野 正士	
(株)宮本卯之助商店	飯塚 絹子	川壁 正	土井 恵見	
NPO法人・アーツ・ネットワーク	江西 緑	岸 彰 則	水野 正徳	

特定非営利活動法人

日本音楽集団

〒151-0073 東京都渋谷区笹塚3-17-1 滝沢ビル302 TEL.03-3378-4741 FAX.03-3376-2033  
ホームページURL <http://www.promusica.or.jp/> E-Mail [office@promusica.or.jp](mailto:office@promusica.or.jp)